

平成 30 年 7 月 3 日  
水管理・国土保全局河川計画課**被災地を含めた全国の河川で洪水被害を防ぐ対策が進んでいます！  
～平成 29 年 7 月九州北部豪雨等を踏まえた取組の進捗状況～**

平成 29 年 7 月九州北部豪雨を踏まえた取組（九州北部緊急治水対策プロジェクト、中小河川緊急治水対策プロジェクト）の進捗状況をお知らせします。

国土交通省では、平成 29 年 7 月九州北部豪雨等により明らかになった課題を踏まえ、九州北部豪雨での甚大な被害を受けた河川の復旧を緊急的に進める「九州北部緊急治水対策プロジェクト」、九州北部豪雨等の教訓を踏まえた全国の中小河川の対策を緊急的に進める「中小河川緊急治水対策プロジェクト」を推進しています。

今般、両プロジェクトの進捗状況をとりまとめましたので、お知らせします。

**<九州北部緊急治水対策プロジェクト>**

～被害を受けた河川の復旧を平成 34 年度目途に実施～

主な内容	進捗状況（6月末時点）
河川・砂防・地域が連携した復旧	赤谷川等において、権限代行等により県に代わって国が工事を実施し、出水期前に被災前と同等の安全度が確保できるよう、被災前と同等の規模の河道断面を確保するとともに、土砂や流木を捕捉するための砂防施設を新たに設置 ※今後、更に安全度を高めるため、掘削等により、より大きな規模の河道断面を確保するとともに、砂防堰堤等を整備
様々な事業・制度を活用した迅速な復旧	被災した全ての河川で必要な応急復旧を完了し、引き続き本復旧を進めており、約 7 割の箇所ですべて契約手続きが完了するなど順次工事を推進 ※5 月末時点
危機管理型水位計の設置とリスクの情報の活用	九州北部豪雨で特に被害が大きかった福岡県朝倉市の赤谷川、桂川、東峰村の大肥川や大分県日田市の小野川などの 46 河川などで危機管理型水位計の設置が完了。平成 30 年 6 月 1 日より随時、自治体や住民への水位情報の提供を開始。

**<中小河川緊急治水対策プロジェクト>**

～全国の中小河川の緊急的な対策を平成 32 年度目途に実施～

主な内容	進捗状況（6月末時点）
土砂・流木対策（約 500 河川）	土砂・流木捕捉効果の高い透過型砂防堰堤等の整備について、約 3 割の河川で現地着手済み
再度の氾濫防止対策（約 400 河川）	多数の家屋や重要な施設の浸水被害を解消するための河道掘削・堤防整備等について、約 4 割の河川で現地着手済み
洪水時の水位監視（約 5800 箇所）	洪水に特化した低コストの水位計（危機管理型水位計）の設置について、福岡県、大分県の被災河川などで設置が進捗

【問い合わせ先】水管理・国土保全局 河川計画課 河川計画調整室

企画専門官 小澤 盛生（内線：35352）、係長 松葉 俊哉（内線：35376）

代表：03(5253)8111 直通：03(5253)8445 FAX：03(5253)1602